

前回議論の整理

1. 資料 3 関係（環境放射能に係る既存のモニタリングの概要など）

(1) 既存データの整理

	主な意見	対応方針（案）
1	・モニタリング地点図の凡例をもう少し工夫すべき。	・資料 5 に整理 資料編 p74～75 の凡例（○）を変更
2	・空間線量率は大気、地面のどちらを意図して測定されたものかを記載すべき。	・資料 5 に整理 資料編 p79～81 の脚注に、以下のとおり追加 (モニタリングポストのデータは、各地域での測定器の高さ等が異なるため、地域間の比較ができないことに留意が必要)
3	・全ベータ濃度の月別平均を算出する際には、ND 値の取扱に注意すべき。	・資料 5 に整理 資料編 p85 の 2 行目を以下のとおり修正 (月別にデータを合算→月別に <u>検出値</u> を合算) 資料編 p87 に以下の検討結果を追加 (検出数が多い上位 10 地点のうち、検出率が 90%未 満であった 6 地点について、ND 値は全検出値の最 小値の 1/2 と推測した検討を実施)
4	・堆積物のサンプリング方法を記載しておく と今後の整理に役立つ。	・資料 5 に整理 資料編 p88 の脚注に、以下のとおり追加 (サンプリング方法に関して明確な記載はなかつた が、測定法シリーズに準拠と思われる。)

2. 資料 4 関係（放射性物質の常時監視に関する検討会報告書 素案）

(1) 基本方針

	主な意見	対応方針（案）
1	・放射性物質・放射線については、線源管理されていることを記載すべき。	・資料 4 に反映 パブコメ版に反映済み
2	・「過去の存在状況の範囲内」では、大気圏内核実験のあった 1960 年代も含まれるため、表現を工夫すべき。	・資料 4 に反映 パブコメ版に反映済み
3	・提供を受けたモニタリング結果をどのように使うのか記載すべき。	・資料 4 に反映 「・・・提供を受け、併せて公表する」とパブコメ版に反映済み

(2) 測定方法

	主な意見	対応方針 (案)
1	・測定方法に関しては、「測定法シリーズによる」と記載してあれば十分。	・資料4に反映 パブコメ版に反映済み
2	・過去の測定値の傾向から外れた値が検出された場合に行う詳細分析については、測定方法に組み込むべき。	・資料4に反映 パブコメ版に反映済み

(3) 測定データ等の公表

	主な意見	対応方針 (案)
1	・「常時監視に含まれる」、「常時監視と見なす」モニタリング結果の公表に違いがあるのか。 ・「取りまとめたデータと評価結果を合わせて公表することを基本とする」とあり、「基本とする」が引っかかる。	・資料4に反映 ・前段については、パブコメ版に反映済み (表現を統一) ・後段については、パブコメも踏まえて修正 (速報値と確定値の二段階で公表)